

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	毒ガス障害者対策費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和49年度		担当課室	総務課指導調査室		総務課指導調査室 稲葉 和男		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-4 原子爆弾被爆者等を援護すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「毒ガス障害者に対する救済措置要綱」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	旧陸軍造兵廠忠海製造所、旧陸軍造兵廠曾根製造所又は旧相模海軍工廠に従業員として従事していた者、旧陸軍広島兵器補給廠忠海分廠に従業員として従事していた者等であって、毒ガスの影響により今なお健康上特別の状態にある者が行う健康管理手当等の申請について、支給の認定に係る事項を審査することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	昭和59年4月10日衛発第266号厚生省公衆衛生局長通知「毒ガス障害者に対する救済措置要綱」に基づき、健康管理手帳及び医療手帳の交付並びに特別手当、医療手当、健康管理手当及び保健手当の支給の認定に係る事項を審査するため、「毒ガス障害者認定検討会」を設置し、これを運営する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	2	2	2	2	2	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	2	2	2	2	2		
	執行額	1	2	1				
執行率(%)	60%	85%	57%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	当経費は、毒ガス障害者に対する各種手当の支給にかかる行政事務を円滑に実施し、毒ガス障害者に対する援護施策を推進する。			成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	毒ガス障害者認定検討会開催回数			活動実績 (当初見込み)	回	4 (6)	5 (6)	3 (6)
			算出根拠					
単位当たりコスト	-		(円/ -)	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.73	0.81	統一単価の増				
	職員旅費	0.46	0.46					
	委員等旅費	0.57	0.57					
	庁費	0.04	0.04					
	計	2	2					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	毒ガス障害者施策に係る各種申請(手帳・手当等)に対する審査のため必要な経費であり、昭和59年4月10日衛発第266号厚生省公衆衛生局長通知に基づき、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	昭和59年4月10日衛発第266号厚生省公衆衛生局長通知に基づき、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	毒ガス障害者施策に係る各種申請(手帳・手当等)に対する審査のため必要な経費である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	経費の使途については、認定検討会の開催にあたり真に必要なものに限定している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	認定検討会の委員欠席により、謝金等の執行額が当初の見込みを下回ったもの。		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	平成24年度は認定検討会の委員の欠席等により、謝金等の執行額が当初の見込みを下回ったため、執行率は下がっている。平成25年度も引き続き効率的な執行に努めて参りたい。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本経費については、毎年度恒常的に不用が生じている状況であるが、毒ガス障害者に対する健康管理手帳等の交付及び医療手当等の支給等に係る事務の遂行に必要な経費であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	192	平成23年	169	平成24年	141

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
2百万円

毒ガス障害者認定検討会の
開催に伴う委員への支払及び
検討会出席のための職員の
旅費。



A. 事務費
2百万円

検討会委員旅費、職員旅費、
諸謝金

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位: 百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.事務費			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務費	委員等旅費、諸謝金、職員旅費	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
2	個人B	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
3	個人C	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
4	個人D	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
5	個人E	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
6	個人F	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
7	個人G	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
8	個人H	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
9	個人I	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
10	個人J	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-